

2-5 道内市町村の人口減少対策にかかる取組の把握

2-5-1 調査概要

2-5-1-1 調査目的

北海道における人口減少の現状や、若年層の意識の把握を踏まえた上で、実際に道内の自治体がどのような対策を行っているのかを把握するため、アンケート調査を実施した。

2-5-1-2 調査対象と調査方法

北海道内の 179 市町村を対象として、「出生率向上」「転入促進」「転出抑制」に係る 43 の施策の実施状況を調査した。アンケート票は、電子メールにて各市町村の担当部署へ配布し、返信をもって回収した。最終的に 179 市町村全てから回答を得た。

2-5-1-3 調査期間

2024 年 2 月 9 日（金）～3 月 14 日（木）

2-5-1-4 調査結果の凡例

各施策の実施状況については、以下の 4 択で回答を得る形式としている。以前から行われてきた施策と、近年注目度が増している施策との区別をすべく、2023 年度に実施している施策についてはその継続状況も問うている。

1. 2018～2023 年度まで継続して実施している。
2. 2023 年度に実施している（1.に当てはまる場合を除く）
3. 2018～2022 年度の間の実施したことがあるが、2023 年度は実施していない
4. 2018 年度以降一度も実施していない。

なお、調査結果の考察にあたっては、1.から順番に「継続実施」「今年実施」「以前実施」「未実施」と省略して表現している。

2-5-2 調査結果

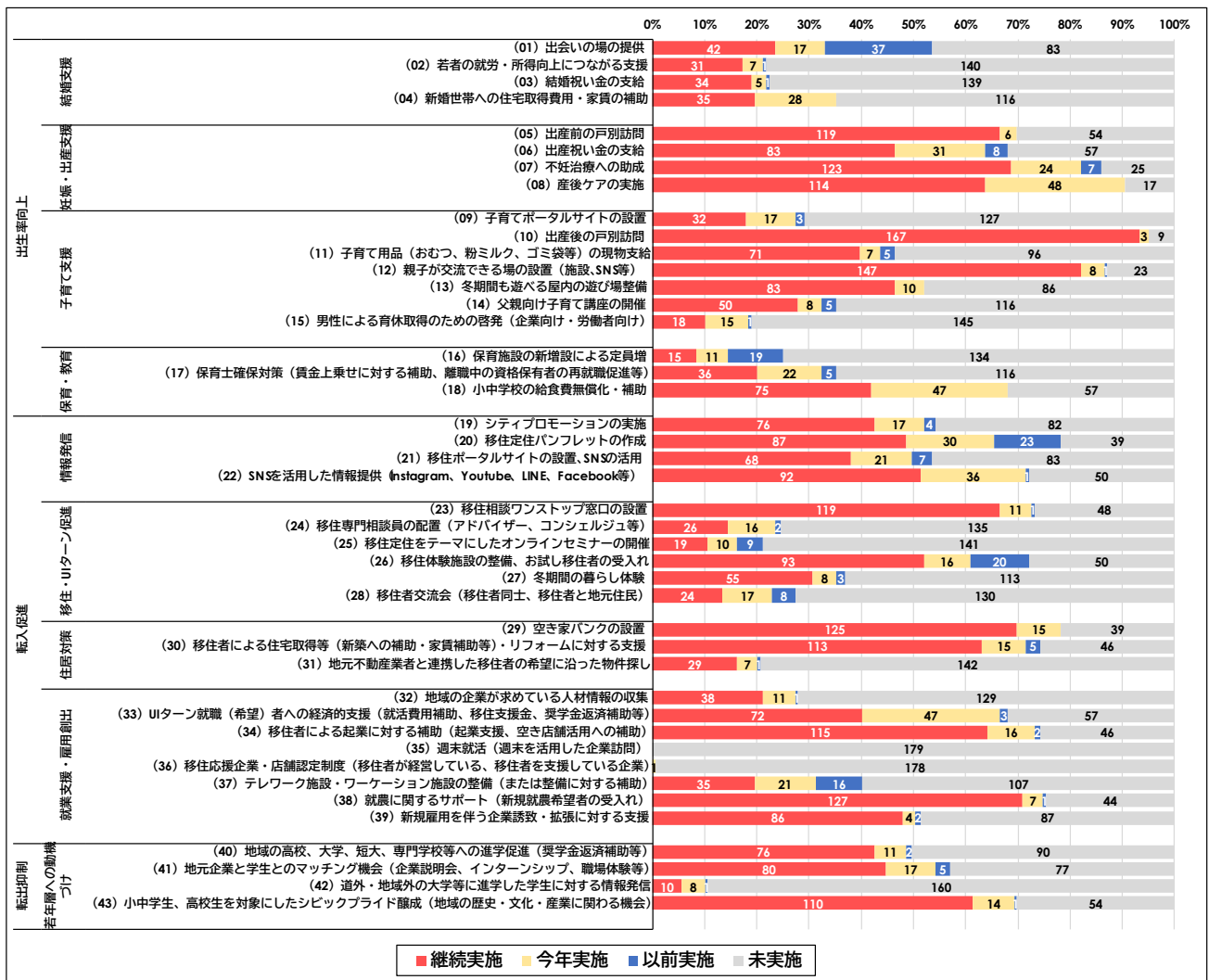
2-5-2-1 単純集計

単純集計の結果は図表 2-5-1 の通りである。最も実施率が高かった施策は「出産後の戸別訪問」で、170 市町村（94.97%）が実施（継続実施+今年実施）していると回答した。他に「産後ケアの実施」が162 市町村（90.50%）で実施率 9 割を上回った。この施策については、「今年実施」が 48 市町村と多くなっている。

同じく「今年実施」の回答数が多い施策をみると、「小中学校の給食費無償化・補助」「UI ターン就職（希望）者への経済的支援（就活費用補助、移住支援金、奨学金返済補助等）」がある。これらは対象者こそ異なるものの、対象を明確にして経済的に支援を行うものという点で共通している。

一方で、「以前実施」の回答数が多い施策をみると、「出会いの場の提供」「移住定住パンフレットの作成」「移住体験施設の整備、お試し移住者の受け入れ」がある。また、「保育施設の新増設による定員増」も同様に「以前実施」の回答数が多い。

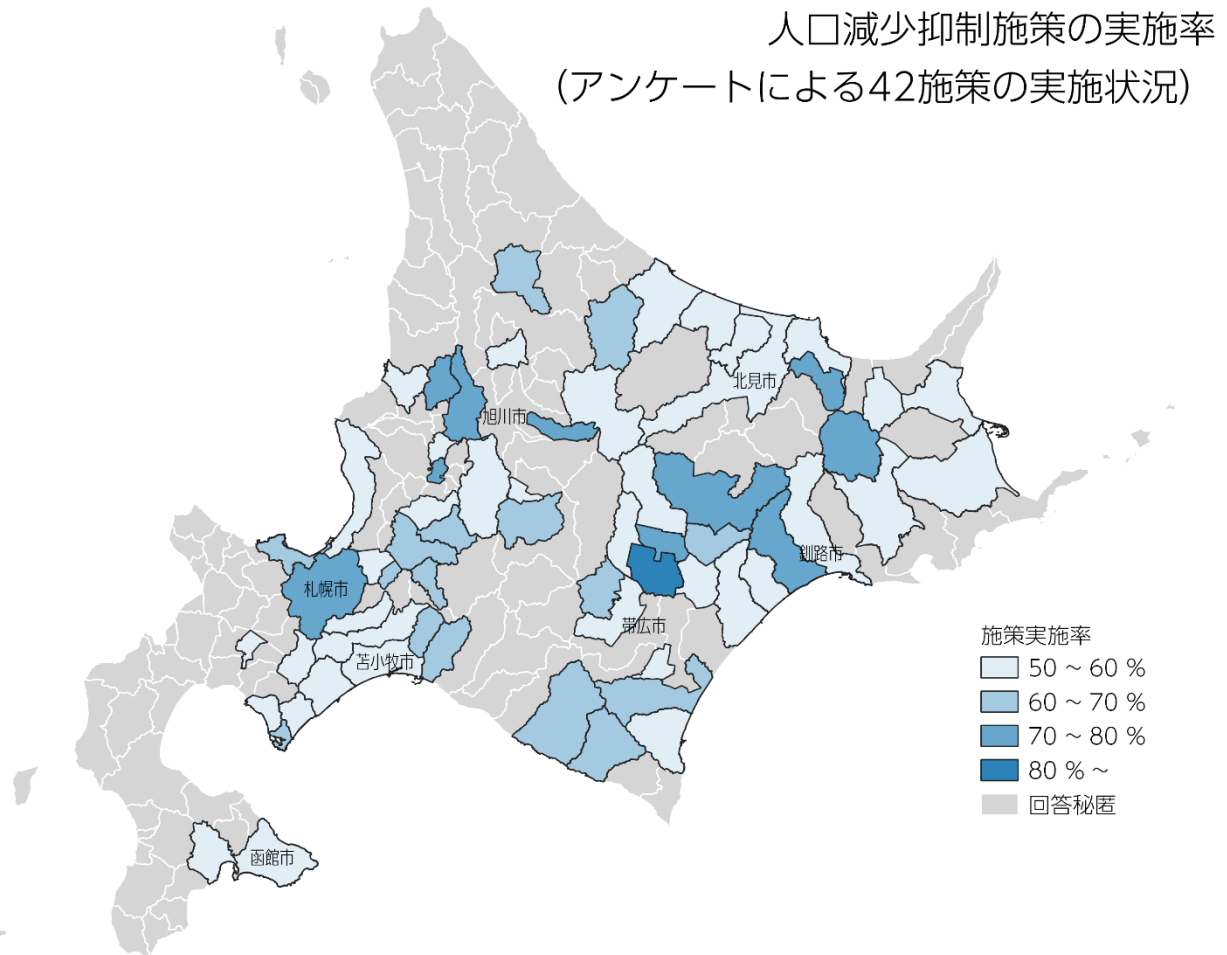
【図表 2-5-1 各種人口減少対策の実施市町村数】



2-5-2-2 市町村別の分析

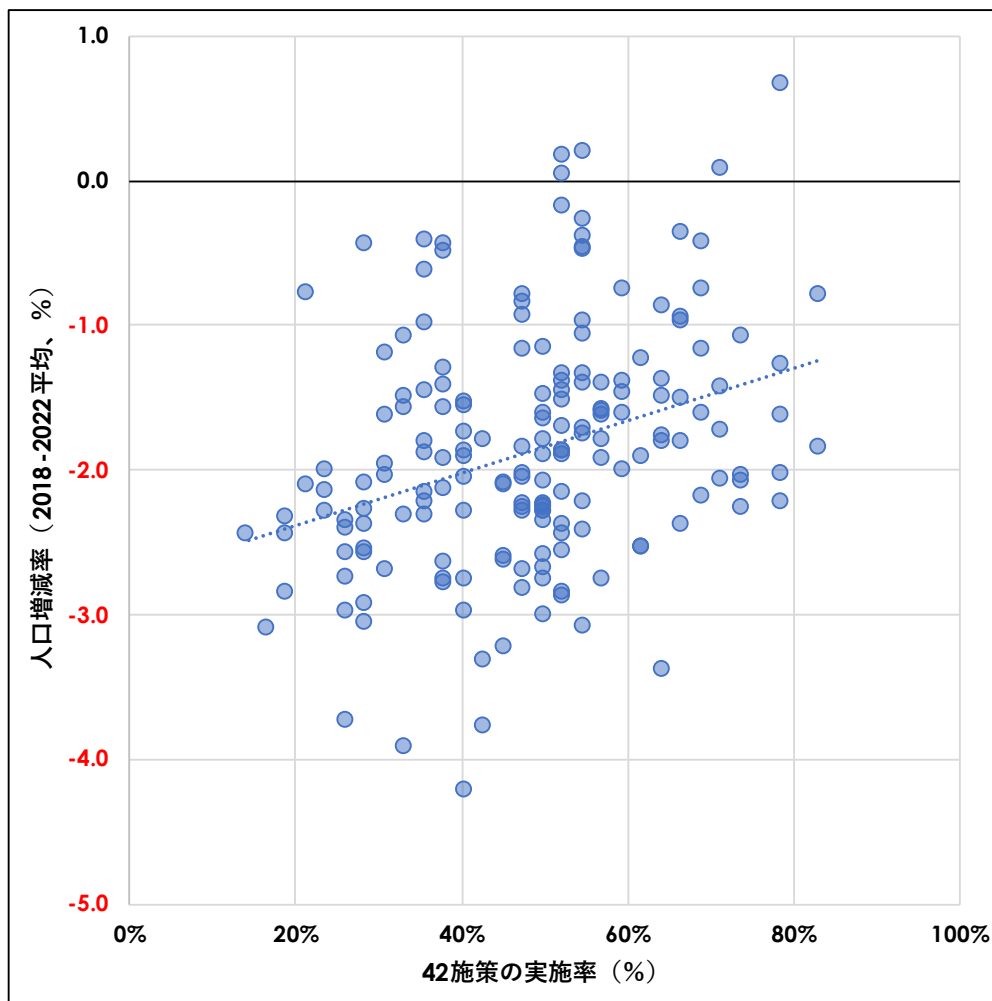
全市町村が未実施と回答した1施策を除いた42の施策のうち、「継続実施」「今年実施」と回答した割合が高い（21施策、50%以上）市町村を塗り分けたのが図表2-5-2である。

【図表 2-5-2 人口減少抑制施策の実施率が高い市町】



施策実施率と人口増減率（2018～2022年の5か年の平均）の相関係数は0.33と、わずかではあるが正の相関がみられた（図表2-5-3）。

【図表2-5-3 施策実施率と人口増減率との関係性】

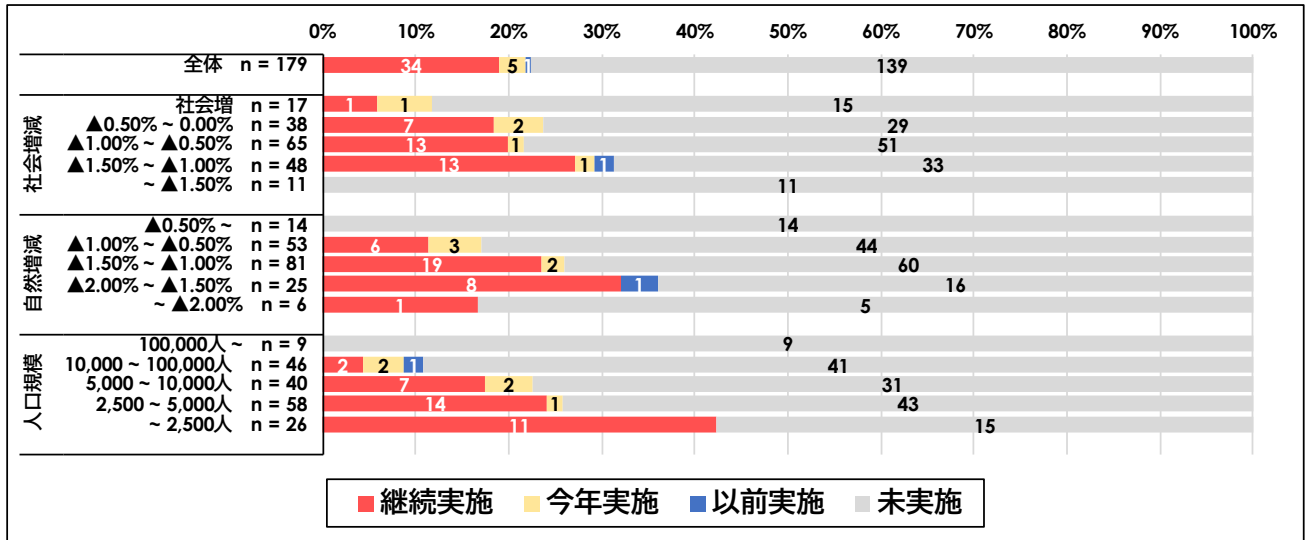


2-5-2-3 施策別の分析

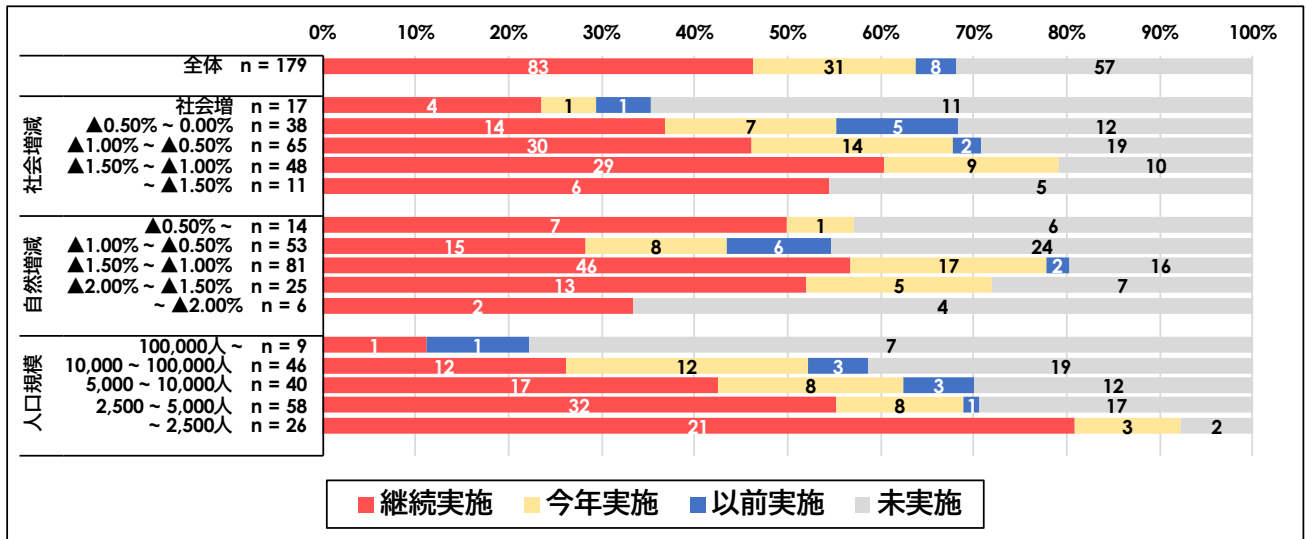
42 施策の実施状況について、市町村の人口規模や人口動態によって特徴的な傾向がみられるものを抜粋する。

結婚祝い金や出産祝い金の支給については、社会減が深刻な市町村や、人口規模が小さな市町村ほど実施率が高い傾向がみられる（図表 2-5-4, 5）。

【図表 2-5-4 結婚祝い金の支給】

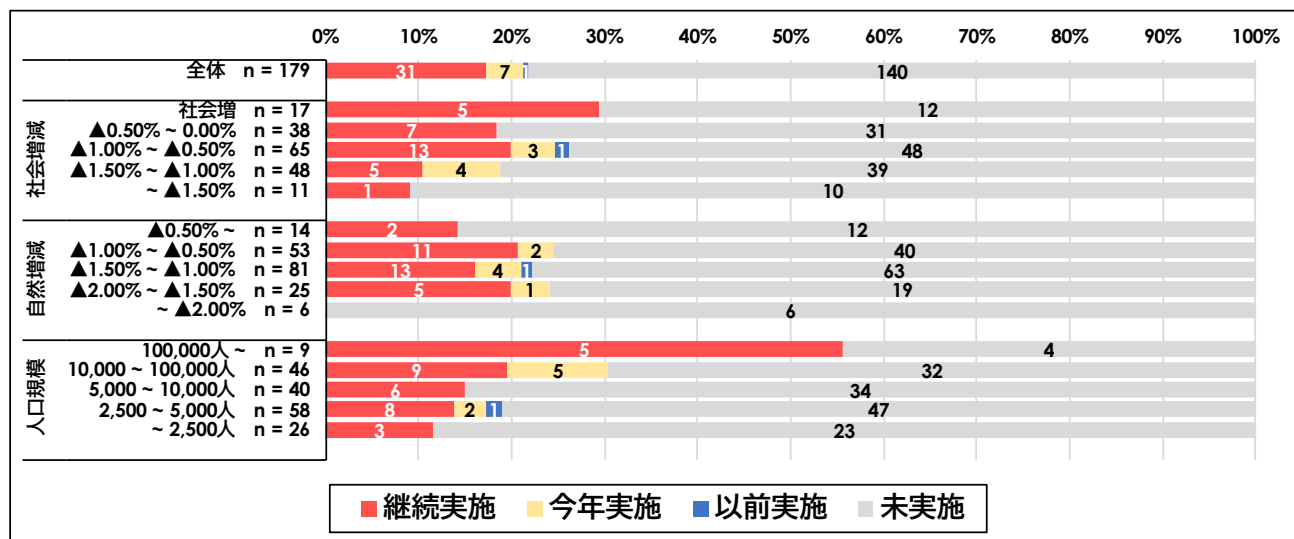


【図表 2-5-5 出産祝い金の支給】

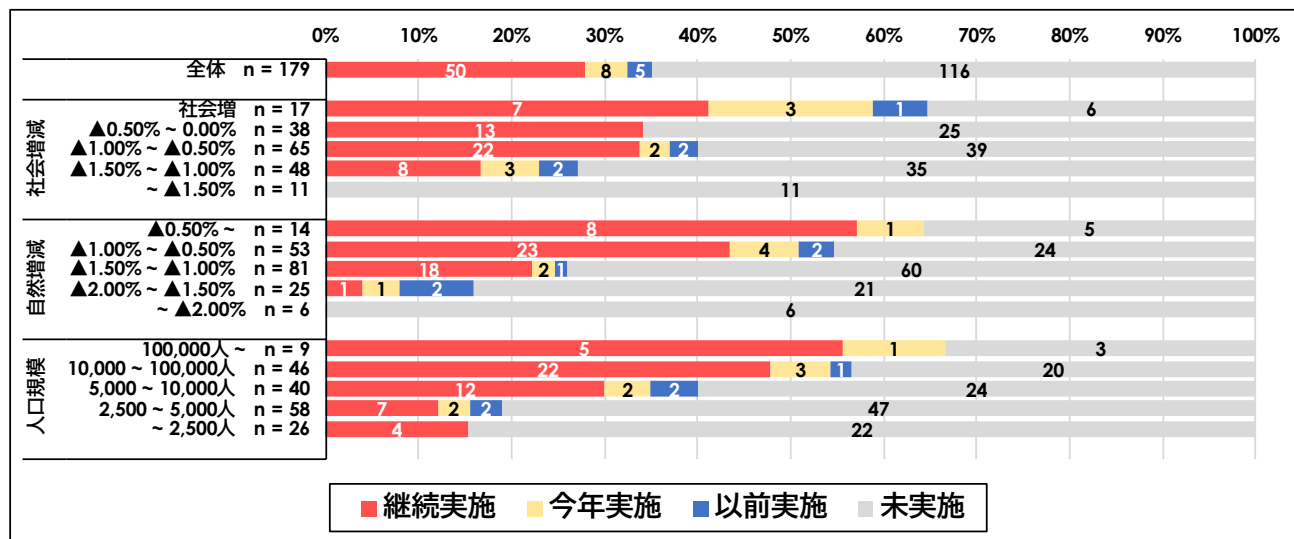


一方で、社会減が抑えられている市町村や人口規模の大きな市町村ほど実施率が高い傾向にあった施策としては、支援センターの設置などといった若者の就労・所得向上につながる支援や、保育士確保対策などが挙げられる（図表 2-5-6～10）。祝い金のような一律支給よりも、ある特定の分野に絞ったピンポイントな支援が多い。社会移動の大半を占める学生や若年層に対する施策は、地域で若い力を囲い込む意図があると考えられる。

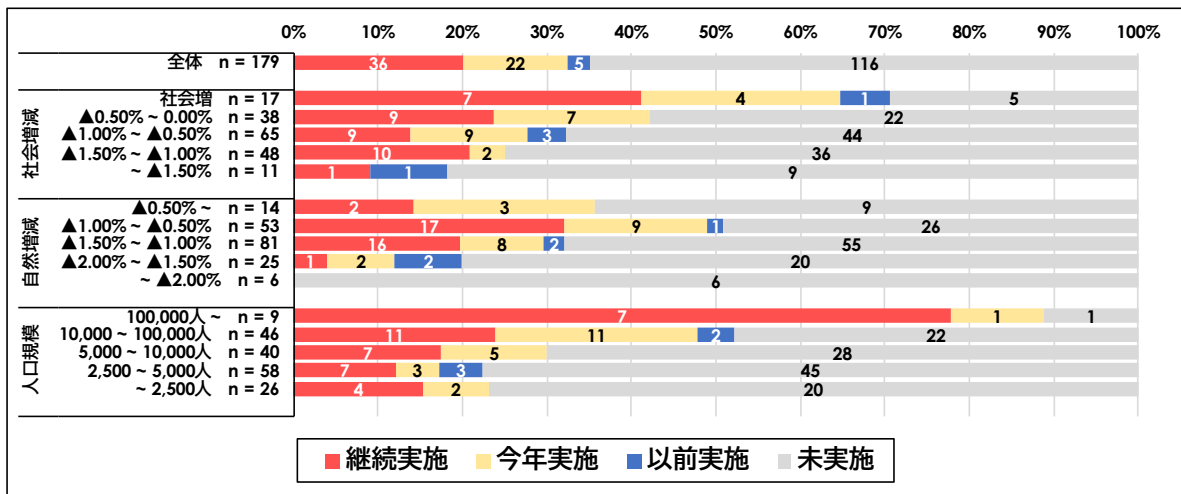
【図表 2-5-6 若者の就労・所得向上につながる支援】



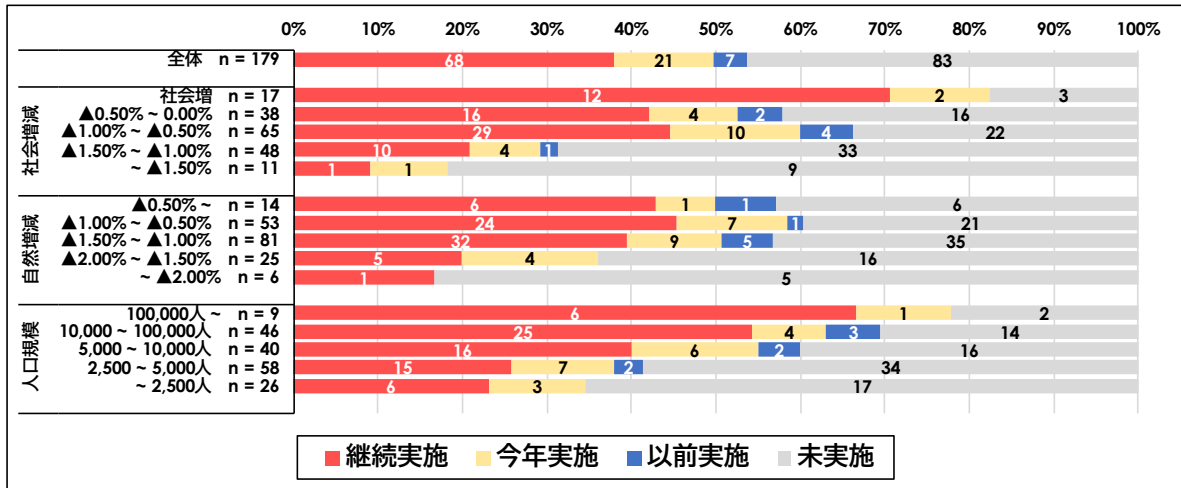
【図表 2-5-7 父親向け子育て講座の開催】



【図表 2-5-8 保育士確保対策（賃金上乘せに対する補助、離職中の資格保有者の再就職促進等）】



【図表 2-5-9 移住ポータルサイトの設置、SNS の活用】



【図表 2-5-10 地元企業と学生とのマッチング機会（企業説明会、インターンシップ、職場体験等）】

